

各支部センターにおける型別菌株数(2014年)

支部センター	集団由来 菌株数	(事件数)	散発由来 菌株数	食肉 菌株数	合計
秋田県健康環境センター	2	(1)	47	13	62
東京都健康安全研究センター	121	(30)	125	0	246
愛知県衛生研究所	31	(7)	32	0	63
大阪府立公衆衛生研究所	73	(34)	23	0	96
広島市衛生研究所	31	(9)	117	64	212
山口県環境保健センター	0	(0)	44	0	44
熊本県保健環境科学研究所	84	(21)	4	0	88
合計	342	(102)	392	77	811

カンピロバクターの血清型別法

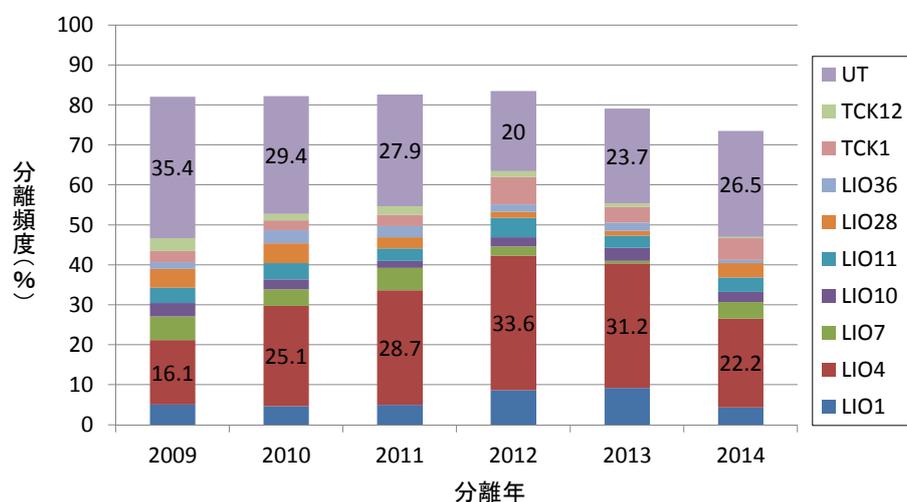
	Lior 法 自家調製	Penner 法 市販品(デンカ生研)
方法	スライド凝集反応	受身血球凝集反応
標的抗原	易熱性抗原 (H, K様抗原?)	耐熱性菌体抗原 (LOS)
血清群数	30(原法:118)	25(原法:57)
操作性	容易	煩雑
判定	やや困難	容易
価格	安価	高価(1検体 2000円)

散発下痢症由来*C. jejuni* のLior血清型別成績 (全国・2014年)

血清型	秋田	東京	愛知	大阪	広島	山口	熊本	合計	(%)
LIO 4	9	27	10	6	28	6	0	86	(22.2)
TCK 1	2	12	1	0	6	0	0	21	(5.4)
LIO 1	2	4	0	0	7	4	0	17	(4.4)
LIO 7	0	8	0	2	3	3	0	16	(4.1)
LIO 11	1	6	0	2	3	2	0	14	(3.6)
LIO 28	0	4	3	0	4	3	0	14	(3.6)
その他*	8	23	6	3	34	13	3	89	(22.9)
小計	22	83	20	13	85	31	3	257	(66.2)
(%)	(47.8)	(66.4)	(62.5)	(61.9)	(72.6)	(72.1)	(75.0)	(66.2)	
複数血清	6	5	7	0	10	0	0	28	(7.2)
型別不能	18	37	5	8	22	12	1	103	(26.5)
合計	46	125	32	21	117	43	4	388	

*20種類

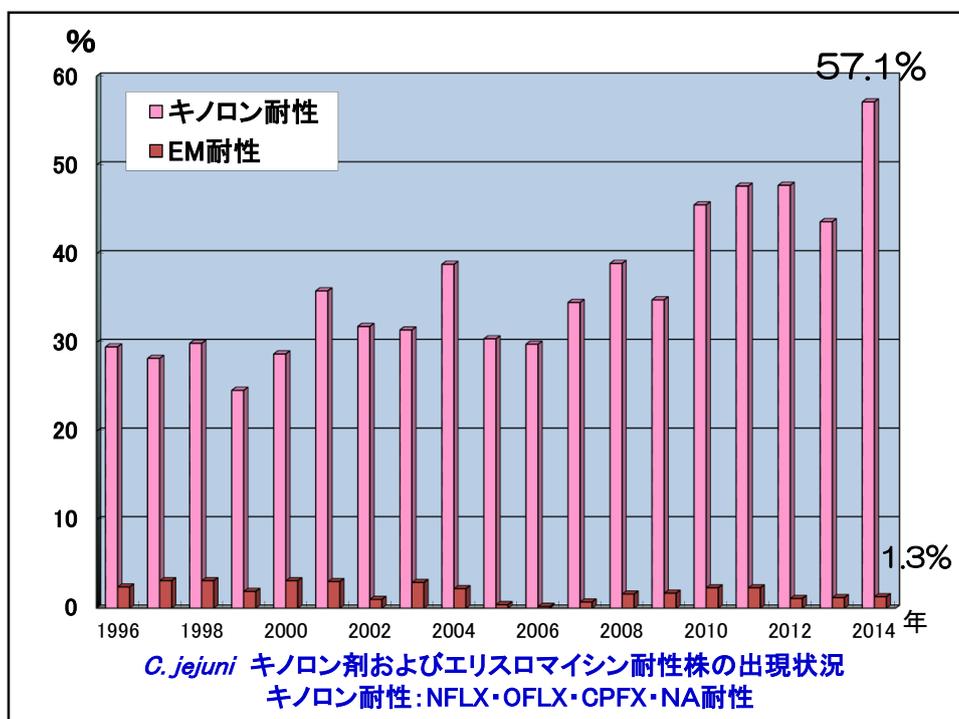
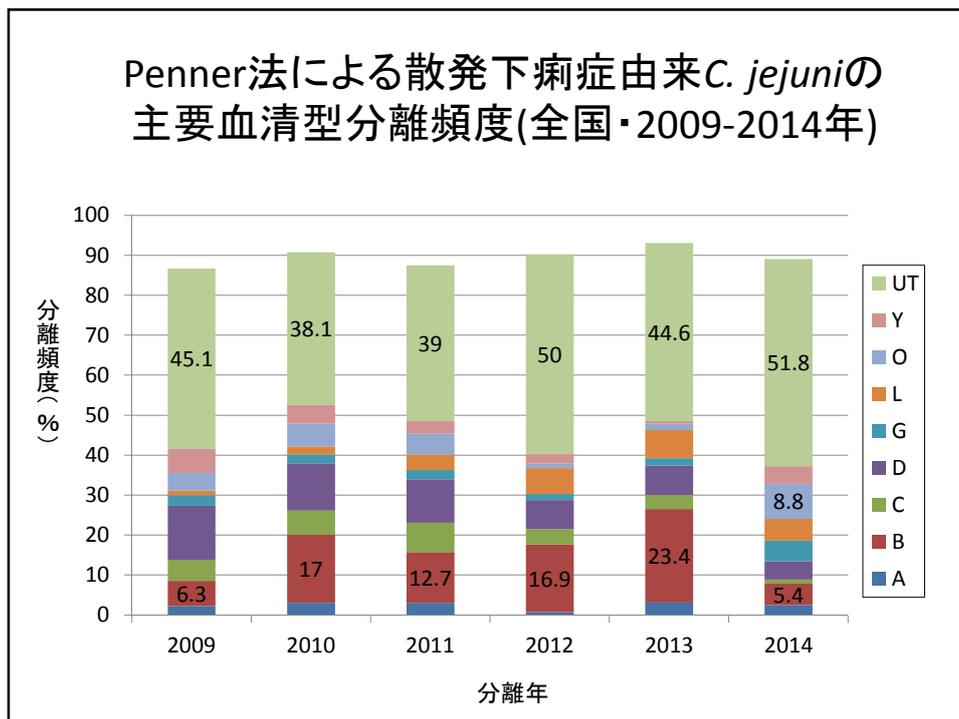
Lior法による散発下痢症由来*C. jejuni*の 主要血清型分離頻度(全国・2009-2014年)

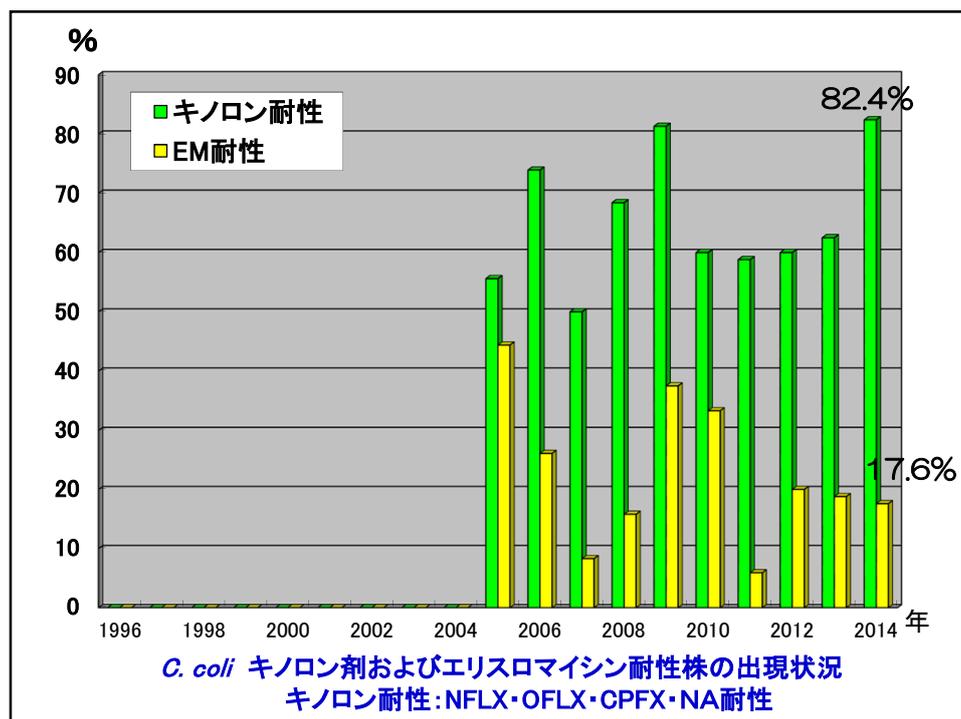


散発下痢症由来*C. jejuni*のPenner血清型別成績 (全国・2014年)

血清型	秋田	東京	愛知	大阪	広島	山口	熊本	合計	(%)
O群	0	7	1	0	17	9	0	34	(8.8)
B群	2	4	6	0	7	2	0	21	(5.4)
L群	1	14	0	1	5	0	0	21	(5.4)
G群	7	10	0	1	2	0	0	20	(5.2)
D群	6	6	0	2	2	2	0	18	(4.6)
Y群	1	4	5	0	3	4	0	17	(4.4)
その他*	11	16	4	4	9	5	0	49	(12.6)
小計	28	61	16	8	45	22	0	180	(46.4)
(%)	(60.9)	(48.8)	(50.0)	(38.1)	(38.5)	(51.2)	(0)	(46.4)	
複数血清	6	1	0	0	0	0	0	7	(1.8)
型別不能	12	63	16	13	72	21	4	201	(51.8)
合計	46	125	32	21	117	43	4	388	

*14種類





今年度の計画

1. Lior 法による診断用血清(30種類)の作製と型別
2. 市販血清を使ったPenner 法の検討
3. 薬剤耐性菌の出現状況把握
4. 遺伝子型別法の検討
5. 検査マニュアルの見直し